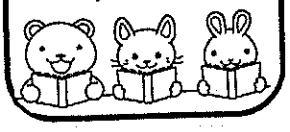
本の案内

伊川谷高校図書館

No.44　2020.4.



一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。二、三年生の皆さん、お久しぶりです。この「本の案内」では、伊川谷高校の図書館に新しく入った本やおススメしたい本などを紹介していきます。図書館もなかなか開館できませんが、皆さんの自宅での読書の参考になれば…と思い本の紹介をさせていただきます。一年生のみなさん、全員のバーコードを準備して待っています。学校が再開したらぜひ図書館をのぞいてみてくださいね！

決定！

本屋大賞　2020

本屋さんの選んだ「本屋大賞 2020」が発表されました。本校の図書館には１位～10 位まですべて揃っています。◎印の本は今までの「本の案内」で紹介したことがあるので、残りの本の紹介をします。

順位	書　　名	著 者 名
大賞	流浪の月	凪良　ゆう
２位	◎ライオンのおやつ	小川　糸
３位	線は、僕を描く	砥上　裕將
４位	ノースライト	横山　秀夫
５位	◎熱源	川越　宗一
６位	Medium　霊媒探偵　城塚翡翠	相沢　沙呼
７位	夏物語	川上　未映子
８位	◎ムゲンのｉ	知念　実希人
９位	店長がバカすぎて	早見　和真
10 位	むかしむかしあるところに、死体がありました。	青柳　碧人

大賞

『流浪の月』

召使天荒な母と、そんな母を愛する父に育てられた少女。やがて大好きだった父を病気で失い、母にも捨てられた彼女の人生は…。

3位

『線は、僕を描く』

ひょんなことから、水墨画の大家の内弟子になった「僕」。下描きも塗りなおしもできない水墨画の世界を通して、「僕」は少しずつ成長していく。

6位

『medium』

死者の言葉を伝えることができる女性霊媒（ゆうばい）師・城塚翡翠。推理作家の香月は、彼女と共に連続殺人の犯人を追う。

4位

『ノースライト』

新築の家の設計をした青瀬。しかし、新しい家に誰もいない。あんなに新しい自宅を喜んでいた一家はどこへ消えてしまったのか？

9位

『店長がバカすぎて』

書店で契約社員として働く女性の奮闘！

7位

『夏物語』

大阪で生まれ育ち、東京で小説家として生きる夏子。38才の彼女は、パートナーはいないが、自分の子どもが欲しい、と思うように…。

10位

昔ばなしがまさかのミステリに!?